

最近の災害再考フォーラム in オホーツク等活動報告

本年は、北海道支部組織の充実がなされますが、今後とも益々支部の発展を願いたいと存じます。

さて本号におきましては、昨年実施いたしましたフォーラム等の活動内容を報告いたします。

1. 最近の災害再考フォーラム in オホーツク

開催概要

日時：2006年（平成18年）11月14日（火曜日）

午後1時00分～午後5時00分

場所：北見芸術文化ホール（北見市）

主催：北見工業大学

共催：土木学会、日本技術士会北海道支部、
オホーツク技術士協議会他

参加人数：500名



写真 フォーラム開催状況

昨年、11月14日、標記フォーラムが開催された。帯広、釧路に続く3度目の開催となった今回は、500名を越える多くの方が参加された。

当日はフォーラム開催に先立ち、佐呂間町で発生（'06.11.7）した竜巻災害で犠牲となった方々に黙祷を捧げた。前半は、演題「にげるな？」北海道開発

局建設部道路維持課長の佐藤昌志氏、演題「みんなで伸ばす地域防災力」板橋区板橋福祉事務所長の鍵屋一氏による2件の講演を頂き、続いて2004年豪雪を取り上げた報道番組のビデオ放映が行われた。後半のパネルディスカッションでは、高橋清氏（北見工業大学助教授）がコーディネーターを務め、鍵屋一氏、坂東克浩氏（北見市総務部防災主幹）、伊藤弘氏（北見市災害ボランティアの会会長）、伊藤陽司氏（北見工業大学助教授）、尾山とし子氏（日本赤十字北海道看護大学助教授）をパネリストに迎え、オホーツクにおける災害の現状認識や「自助」「共助」「公助」の重要性などについて議論を行った。

2. 技術士第二次口頭試験対策勉強会

開催日：2006年（平成18年）11月25日（土）

午前10時00分～午後1時00分

開催場所：北見工業大学（北見市）

参加者総数（講師含む）：7名

受験対象者：建設部門（1名）、
総合技術監理部門（1名）

指導講師（敬称略）

橘 邦彦、中崎孝俊、猪口公志、西尾佳晃

本年度も技術士第二次筆記試験合格者を対象として口頭試験対策勉強会を実施した。勉強会は、本番を想定した面接形式で行い、参加者は研鑽を積んだ。

最後になりますが、先述しましたフォーラム開催に当たり、ご尽力頂いた関係各位に改めてお礼申し上げます。

本年も会員皆様方の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

（文責：オホーツク技術士協議会事務局長 岡田 包儀）